

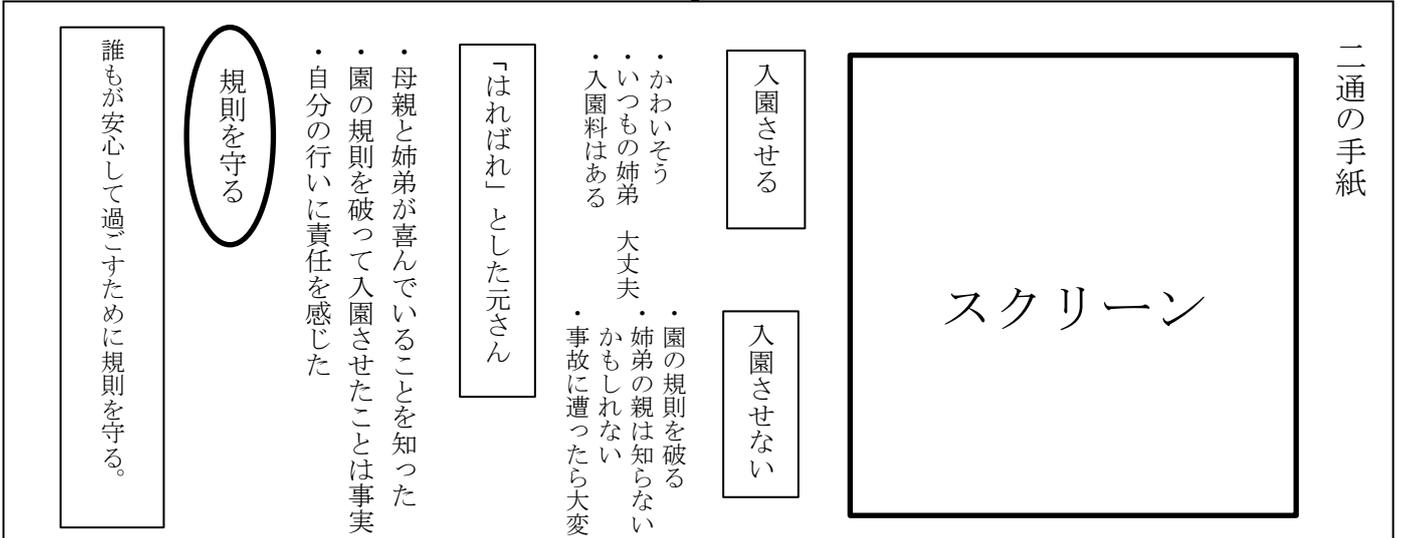
# 第3学年 道徳学習指導案

日時 令和5年6月23日（金）5校時  
 場所 池田町立池田中学校 3年生教室  
 授業者 ○○ ○○

- 1 教材名 「二通の手紙」 <内容項目：C-（10）> 遵法精神，公德心  
 2 主題構成表

<p><b>■内容項目 C-（10）</b>  <b>遵法精神，公德心</b>                  法やきまりの意義を理解し，それらを進んで守るとともに，そのよりよい在り方について考え，自他の権利を大切にし，義務を果たして，規律ある安定した社会の実現に努めること。</p>	<p><b>■内容項目から見た生徒の実態</b></p>	
<p><b>■価値の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公德心とは，社会生活の中で守るべき正しい道としての公德を大切にする心である。一人一人の日常生活の中で具体的に生かされることで，住みよい社会が実現できる。</li> <li>・この段階においては，法やきまりに従えばよいと考え，「ルールだから守る」という法やきまりを他律的に捉えている生徒が多い。自他の権利を大切にし，義務を果たすことで，互いの自由意志が尊重され，結果として規律ある安定した社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育てる必要がある。</li> <li>・本学級では，行動の根底に「きまりだから」という約束厳守の精神が感じられる。よって，「きまり」ではなく，自分たちがより快適に生活するために公德心を養おうとする心情を養っていききたい。</li> </ul>	<p><b>●行動</b></p> <p>◎ルールやきまりは，守らなくてはいけない。</p> <p>○ルールやきまりは，条件付きで守る。</p> <p>△ルールやきまりを守らない。</p>	<p><b>●意識</b></p> <p>◎ルールやきまりを守らないと，何かあった時に，誰かが傷ついてしまうから。</p> <p>○ルールやきまりを守ることは大切だが，思いやりの結果，破るのは仕方がない。</p> <p>○ルールやきまりを守らないと，怒られてしまう。</p> <p>△ルールやきまりに対して，必要性を感じていない。                  △面倒くさい，やりたくない。                  ×人のことなど，どうでもよい。                  ×自分の利益のためなら，ルールやきまりを守れなくてよい。</p>
<p><b>●要因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校卒業までに，「約束は，守らなくてはいけない」と確認し，素直に守り続けてきた。</li> <li>・ルールやきまりを破って，周りの人に叱られることが嫌で守り続けてきた。</li> <li>・自分で判断し，行動する経験が少なく，決められたルールやきまりについて疑問を持つことなく過ごしてきた。</li> <li>・ルールやきまりを守れば，教師に褒められることが多く，それがよい行いだと認識している。</li> </ul>		

**■ねらい**  
 元さんの気持ちを考えることを通して，誰もが安心して過ごすためにはルールやきまりを守ることが大切であること気付き，安心安全な生活を送るための心情を養う。



3 本時の展開

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
<p>導入</p>	<p>1. 「規則やきまりがあることについて、どのように思うか。」について考える。</p> <p>○規則は守らなければならないと頭では分かっているけれど、ついつい守れなかったことはないだろうか。それは、なぜか。 (自己理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面倒くさかった。</li> <li>・ちょっとくらい、いいかと思った。</li> </ul> <p>2. 「二通の手紙」を読み、感想をもとに考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんが、幼い姉弟を入園させたのに、辞めさせられたのは、可哀そうだと思った。</li> <li>・元さんが、幼い姉弟を入園させた気持ちが分かる。</li> </ul> <p>○自分が元さんの立場だったら、どうするか。 (他者理解・人間理解)</p> <p>【入園させる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園料は持っているし、いつも来ている姉弟だから。</li> <li>・短い時間だったら、大丈夫だと思うから</li> <li>・弟の誕生日だから。</li> <li>・一緒に付き添って入園させる。</li> <li>・上司にお願いして、入園させる。</li> </ul> <p>【入園させない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の規則を破ることになるから。</li> <li>・幼い姉弟の保護者が、動物園に来ていることを知らないかもしれないから。</li> <li>・万が一事故に遭ったら大変だから。</li> </ul> <p>【迷っている】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園させたいけれど、規則を破ってしまうから。</li> <li>・入園させられないけれど、二人がかわいそう。</li> </ul> <p>◎「はればれ」とした気持ちで職場を去っていった元さんの気持ちを考えよう。 (価値理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大好きな職業を辞めることになったけれど、幼い姉弟とその母親が喜ぶ顔を見ることができたから。</li> <li>・規則を破ったことは事実だから。</li> <li>・入園させたことは後悔していないけれど、園の規則を破ったことにも責任を感じているから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間との話し合い活動を通して、自分が感じたこと考えたことについて振り返る。</li> <li>・問い返しによって、頭では分かっているが行動が伴わない時があることに、気付けるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートで、シートを5色に色分けし、自分の気持ちの度合いに合わせて、シートの色を選択し、記入することで自己理解を図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な立場の考えを出すことで、お互いの考えを理解できるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんが、姉弟の願いを聞き届けたことに悔いがなかったことと、園の規則を破ってしまった責任を感じていることの両方の心情について気付かせるために、次の補助発問を準備する。「どうして辞めなくてはいけないのに、二人を入園させたことに後悔していないのか」</li> <li>・「規則を守ることには、そこまで意味があるのか」と問い返すことで、誰もが安心して過ごすために園の規則があることを考えさせる。</li> </ul>
<p>展開</p>	<p>3. 自己見つけ (確かな自己理解)</p> <p>○みんなは元さんの決断から、どんなことを学びましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園させると判断したときの元さんは、きっと迷っていたと思う。元さんが入園させようと思ったことは、とてもよく分かるけれど、やっぱり、みんなが安心して生活するためには、園の規則を守ることは大切だということが分かった。</li> </ul>	
<p>まとめ</p>		